

はが

地域を上げての盆踊り

「むつみ園」



地域子どもたちもたくさん参加

波賀町にある老人保健施設むつみ園では、飯見自治会やボランティアの協力をえて、毎年「納涼盆踊り」を開催しています。

今年は、8月9日（土）に300名を超える参加者が、自治会による太鼓の音頭で踊り、職員手作りの夜店や打ち上げ花火など盛大に開催されました。

ボランティアの皆さんも、毎月実施している「ボランティアの日」の活動として、会場の準備や、銭太鼓・影絵・日本舞踊で参加されました。



今年で17回目を迎えた地域のみなさんと交流する一番大きな行事です

また、昨年は社協主催の「歳末ふれあいコンサート」の会場としてご協力いただき、地域との交流の場となりました。

自治会内にある施設や団体が、地域の一員として協力し、行事などを企画運営すること、が、「だれもが安心してくらせるふくしのまちづくり」につながります。

こうした地域と施設の交流の場が、市内に増えていくことを願っています。

（波賀支部 森井裕矢）



昨年の「歳末ふれあいコンサート」には、約120名が中国音楽アンサンブルを聴きました

ちくさ

古切手で「しおり」づくり

「サマーボランティア体験教室に37名

8月19日（火）、古切手を利用し、本にはさむ「しおり」を作る「古切手リサイクル教室」を千種保健福祉センターで実施し、小・中学生37名が参加しました。

毎月、皆さんから届けられる古切手は、神戸市の「誕生日ありがとう本部」へ送付し、「古切手セット・しおり」に生まれ変わり、販売された資金が知的障がい者の啓発活動に活用されています。

この教室では、参加した子ども達も実際に「しおり」を作成することで、古切手がど



切手選びからデザインまで、各自趣向を凝らした「しおり」を作りました



ボランティアグループ「コスモス」の古切手は、みんなによって丁寧に整理されています

のようにボランティア活動につながっているのかを学びました。

「自分が作ったしおりが人のためになるのはうれしい」「これからは古切手を集めたい」などの声が聞けました。自分にもできるボランティア活動を知り、ボランティアが今までより身近に感じられたようでした。

今回作成したしおりは、11月16日（日）に行われる「千種健康・福祉・医療まつり」で販売し、収益金は「誕生日ありがとう運動本部」に送ります。（千種支部 田中祥仁）

